

フレッシュ通信

Vo.8夏直前号



フレッシュ歯科
院長 田中愼亮
TEL087-814-4181
高松市林町1183番
新鮮市場きむら林店敷地内

わくわく親子教室のご報告

先日、当院では乳幼児のお子様とお母様をお招きして、お口の健康に関する情報提供と、虫歯リスクを調べる簡単な実験を体験していただきました。

一歳前後のお子様をもつお母様のお悩みはやはりわが子の歯磨き。
*毎日歯磨きを嫌がって大変！
*このままでは生えたての乳歯が虫歯になってしまうので不安を感じておられました。

そこで院長からは、
*虫歯はほんとのところどうしてできるのか
*予防はいつごろから何に注意しなければいけないのか
といったお話を。



歯科衛生士からは、
*歯磨きが楽しくなる5つのポイント
*フッ素習慣の大切さ
*フッ素商品の紹介とお試タイム
など、画像や資料も交えて、お伝えしました。



親子教室当日の風景



小さなお子様たちの愛くるしい笑顔やしぐさ、また、お母様たちの優しい眼差しにこちらも終始笑顔になってしまう、そんな幸せなひと時でした。

今後も定期的に、イベントを通じて、地域の皆さまとの交流と、情報発信を行っていきたく願っております。ぜひその際は、お気軽にご参加くださいませ！
たくさんの方にお会いできることを、スタッフ一同楽しみにしております。

気温の高い日が続いています。

皆様、体調のほうはいかがでしょう。

水分と塩分をしっかりと補給し、熱中症にならないよう気をつけましょう！

そもその歯なし 第6回 世界の中の日本

皆さま、厚生労働省と歯科医師会が推奨している歯の8020運動はご存知ですか？はちまるにいまる運動と読みます。80歳で20本の歯を残しましょう、そうすれば生涯を通じてよく噛め、味わいながら食事を楽しむことができますよ、といった意味が込められています。



日本は、世界トップの長寿国です。現在、80歳の2割の方が20本以上の歯を残すことができますが、残りの8割の方は20本以下で、平均にすると12本です。まだまだ大半の方が、部分入れ歯で不自由な思いをされています。それに対し、歯の長寿国スウェーデンでは、80歳で20本の歯を残すことを国民の大半がクリアしています。アメリカでも平均17本です。

その差はどこからくるのでしょうか。実は、歯科検診の受診率に大きな差があります。スウェーデンでは80%以上、その他の欧米でも70%を越えています。それに比べ、日本は10%以下です。だいぶ遅れをとっていますね。

痛みや症状がでてきてからでは、何らかの治療や処置が必要となります。歯を削ったり、神経をとったりすると、歯の寿命は短くなってしまいます。歯周病はさらにやっかいです。大切な歯、ずっとよい状態で使っていきたいですね。そのための現状チェックをぜひ早急に。

